

米国選挙おとり捜査？QFS ブロックチェーン暗号化コード技術は成功するか？

2020年11月6日発行

ジョン・オサリバン



ソーシャルメディアで以下の主張が話題になっている。すなわち、2020年米国大統領選挙は入念に計画された軍事的おとり捜査の対象になっていて、大規模な不正選挙を摘発するために、QFS ブロックチェーン暗号化コード技術が使用されたと。主流メディアが「選挙詐欺」についての大統領の再三の主張を非難する中、ドナルド・トランプの支持者たちは熱心に証拠を探してきた。

熱狂的な関心を集めたのは、スティーブ・ピエツエニク MD, PhD[の発言]である。非常に有能な米国政府の内部関係者で、後に「テロとの戦い」について率直な懐疑論者に転向した。henry-kissinger 国務長官のもとで、国務副次官補、主任政策企画官を務めた。

ピエツエニクは昨日、infowars.com の The War Room でビデオインタビューを受けた。ピエツエニク博士は、全米の選挙投票には透かしが入っており、民主党員による不正の試みは、暴露されるだろうと述べた。

in5d.com のグレッグ・プレスコット M.S は以下のように報じた。

「不正投票や民主党員の汚職を暴くために、何年も前におとり捜査が行われていたとしたらどうだろうか。もしその計画が今暴露されとしたら？」

スティーブ・ピエツエニク氏は次のように述べている。

「政府には、バイデンと民主党の機構がいかに腐敗しているか、今もこれからもそうであるかを“正確に”理解している米国の諜報機関、軍、そして民間人の立派なメンバーがいる。これは、他の誰もが述べていたこととは反対に、本当におとり捜査である。トランプはこれが実行されていることを知っていた。エリックは、これが実行されていることを知って、一般の人々に警告した。私はこれが実行されていることを知っていたが、それについて何も言えなかつた。」

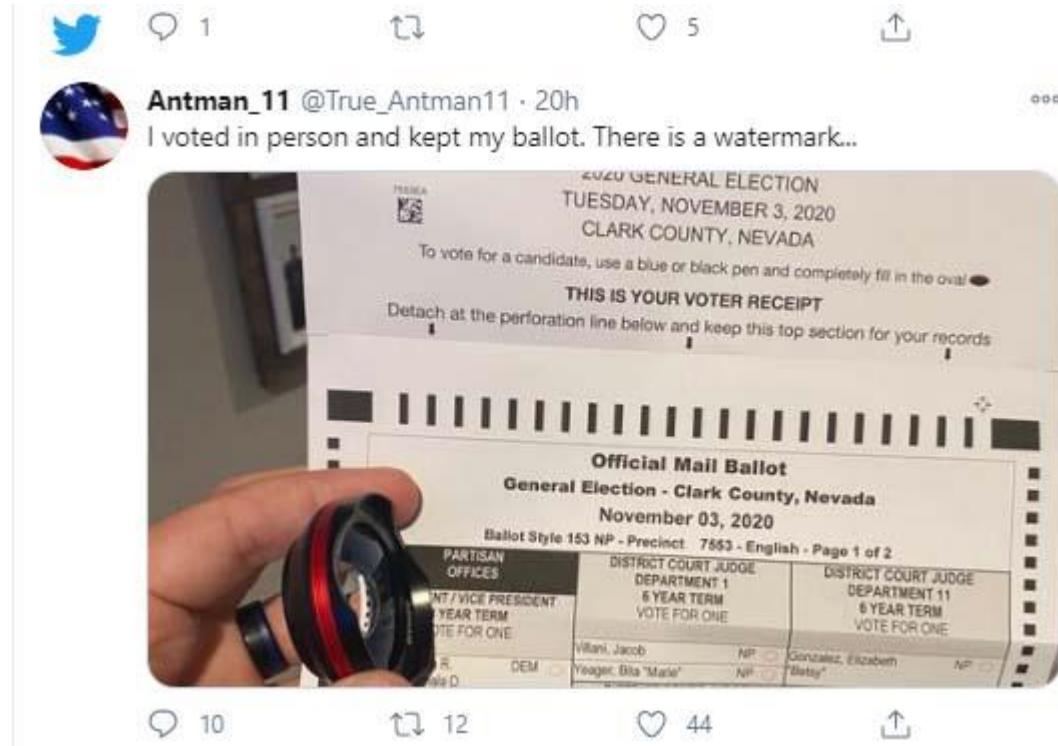
何が実行されていたかというと、われわれは、すべての投票用紙に透かしと、QFS (量子金融システム) ブロックチーン暗号コードと呼ばれるものを入れた。つまり、われわれは、すべての投票がどこにあり、どこに行き、誰がそれを持っているかをよく知っている。だから、これは盗まれた選挙ではない。」

さらにこれは、なぜ州兵が 12 の州に配置されたのかの理由である：



具体的な説明はジェイ・ディー氏が行っている：

「COVID[新型コロナウィルス]が流行しているため、この票は 2020 年の連邦選挙用に GOVT/DHS(米国国土安全保障省)が大量に作成・注文・供給した。これは、「郵送投票」専用である。というのも、不正が行われるのは、もっぱらこの投票用紙においてだからである。



印刷は州ごとに行われる。

だから誰がそれを印刷しても、「それは追加される」…
アリゾナ、ペンシルバニア、ミシガンなど(ワシントン?) は、票を送付し、トランプ票を破壊し、バイデンのために新しい票を印刷した。バイデンのための「新しい票」には透かしが入っていないが、本物としてカウントされた。「水も漏らさぬ完全な」事案である。…素晴らしい。

これは合法的であり、彼らは 1 年以上もわれわれにそれについて話してきた。つい最近、10 日前のこと。DHS は 2018 年初めからわれわれの選挙を担当してきた。」

投票用紙の透かしとインジケーター:



そのため、すべての州が独自の投票用紙を印刷しているが、各州が使用した用紙は DHS から提供されたもので、QFS ブロックチェーン暗号化コードが含まれている。

<https://youtu.be/5dzOEaxWb3M>

結果

正式な投票用紙に非放射性同位元素の透かしがあれば、その投票用紙一枚一枚を迅速かつ効率的に読み取る機械が存在しなければならない。これは、再集計が始まる前に、「すべての」州が「公式に」カウントされなければならないことを意味する。再集計が始まれば、投票の有効性(または無効性)を確認するのに 3~4 日かかり、投票者が実際に投票資格を有するかどうか(登録済みか、死亡しているか、何度も投票しているか、など)をダブル・チェックするのにさらに一週間ほどかかるだろう。下院と上院の議席も問題であり、これは徹底的に調べ上げなければならない。

詳細については、in5d.com を参照されたし。

更新情報:読者の JACook からの情報提供により、以下の興味深い記事を追加する。

ジョン、投票用紙のサイバーセキュリティ暗号化に関する素晴らしい記事をありがとう!しかし、この一年の間に、次の Q ポストメッセージが何度も繰り返し投稿されていることをご存知だろうか。「来たりつつあるものを止めることはできない」 [NCSWIC]

Q !!Hs1Jq13jV6 ID: 4cbab8 No.9001367 ↗ ↘
May 2 2020 13:55:26 (EST)

4052

<https://twitter.com/Dr3V13/status/1256656644194344961> ↗ ↘
Nothing can stop what is coming.
WWG1WGA!!!
Q

Q !!Hs1Jq13jV6 ID: 0cbc83 No.8537834 ↗ ↘
Mar 23 2020 18:31:36 (EST)

3897

<https://twitter.com/RepAndyHarrisMD/status/124217870505048064> ↗ ↘
PREVENT **[[D] party destruction]** BY ANY MEANS NECESSARY.
These people are sick!
Nothing can stop what is coming.
Nothing.
Q

Q !!Hs1Jq13jV6 ID: a19e8d No.11379902 ↗ ↘
Oct 31 2020 17:44:04 (EST)

4944

Are you ready to finish what we started?
'Nothing can stop what is coming' is not just a catch-phrase.
Q

今日、NCSWIC という頭字語は単なるキャッチフレーズではなく、サイバーセキュリティ・インフラセキュリティ局 (Cybersecurity & Infrastructure Security Agency) の全州相互運用性調整者全米協議会 (National Council of Statewide Interoperability Coordinators (NCSWIC)) を指す可能性があることを知った。参照:



SAFECOM®

ASSURING A SAFER AMERICA THROUGH EFFECTIVE PUBLIC SAFETY COMMUNICATIONS

Home

About

NCSWIC

FPIC

Updates

Resources

SAFECOM > National Council of Statewide Interoperability Coordinators

National Council of Statewide Interoperability Coordinators

About NCSWIC

SAFECOM, NCSWIC, and Joint In-Person Meetings

NCSWIC Membership

NCSWIC Committees

NCSWIC Contact Information

SAFECOM

About SAFECOM

National Council of

NATIONAL COUNCIL OF STATEWIDE INTEROPERABILITY COORDINATORS



Nothing Can Stop What Is Coming

Established by the Department of Homeland Security's (DHS) Cybersecurity and Infrastructure Security Agency (CISA) in July 2010, the National Council of Statewide Interoperability Coordinators (NCSWIC) supports Statewide Interoperability Coordinators (SWIC) from the 56 states and territories, by developing products and services to assist them with leveraging their relationships, professional knowledge, and experience with public safety partners involved in interoperable communications at all levels of government.

CISA is the lead coordination agency for the NCSWIC and recognizes the critical role the SWICs serve in organizing and executing the interoperability effort in all the states and territories.

The Emergency Communications Advisory White Paper explains the difference between NCSWIC and organizations such as, SAFECOM, First Responder Network Authority (FirstNet) Public Safety Advisory Committee (PSAC), and National Public-Safety Telecommunications Council (NPSTC).

Last Updated Date: May 1, 2020

よく繰り返される別のQステートメント:「偶然はない」。
ポップコーンを入れるべき時なのか?

PSIエディタアップデート（2020年11月8日）

元諜報部員トニー・シェーファーから、この件に関する最新情報をお伝えする。

トニー・シェーファーは元諜報部員で、現在はロンドン政策研究所長で、トランプ大統領の2020年諮問委員会のメンバーである。シェーファーは大統領が選挙に勝ったと信じており、それを証明するために重要な訴訟をかかえている。

<http://tapnewswire.com/2020/11/huge-exclusive-keep-the-faith-president-trump-will-win-the-election-based-on-the-constitution-per-retired-intel-operative-tony-shaffer/>

シェーファーのツイート:

私の投稿をフォローしているすべての民主党の輩に対する仮質問…

もし DHS が DNC(民主党全国委員会)の不正なカウントを予期していたらどうなるだろうか?

もし DHS がすべての正式な投票用紙に「タグ」を付けていたらどうなるだろうか?

もし DHS がカウントされたすべての投票用紙を監査し、タグのない投票用紙を見つけたらどうなるだろうか?

次に、シェーファーは、いくつかコメントを残した後に、もう一つ別の質問をした:

それは既知の収縮した視野において実施された…あなたは、法執行機関が常に企業に協力を求めていることを理解しているよね?

シェーファーの3番目のツイートは「マーキングがはっきりと識別できないように文書にマークを付ける方法はたくさんある」ということを示している。

ああ、今はもっと多くの方法があるんだよ…

光がどのように作用するか、みんなわかってない…人の目には見えないものが、赤外線や紫外線で見ることができるので…「ザ・ファーム」には、秘密の書き込みに関する指示の全ブロックがあった…それは驚くべきものだ…

<https://principia-scientific.com/us-election-sting-will-qfs-blockchain-encryption-code-technology-win-it/> の翻訳